

家庭菜園相談室

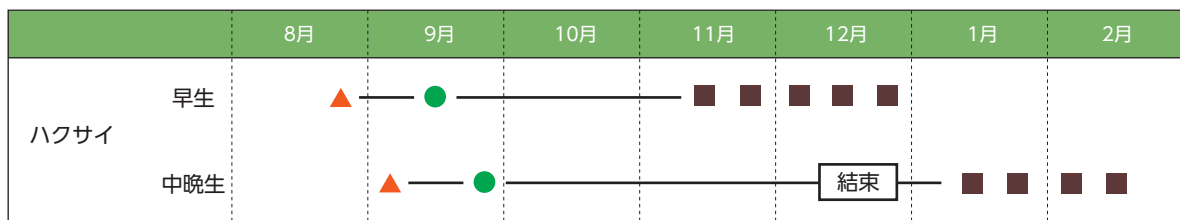
今月の
テーマ

気温が低くなる前に 十分葉数を増やしておくことが大切!



ハクサイは繊維の柔らかさとあっさりとした味で冬野菜の王座を占めます。あく抜きもなく手軽に使えて、炒め物・鍋物・漬物に最適です。韓国ではキムチに不可欠なことで有名ですね。

図1 作型目安



▲ 播種 ● 植付け ■ 収穫 ※同じ作型（早生・中晩生など）でも品種により収穫時期などが異なるためラベルをよく確認する

栽培 特性

- 冷涼な気候を好み、生育適温は15~20℃で、比較的適温の幅が狭く、キャベツなどに比べると播き時は限定されます。
- 軟腐病などの土壌病害が出やすいので、3~4年の輪作を心がけることが重要です。
- 特に、畑の排水を良くして栽培することが大切です。過湿は禁物です。
- 結球には55~90枚の多くの葉が必要であり、低温に入る前にこの葉数を確保するよう生育を促進します。

栽培の ポイント

- 夏の育苗には、ある程度経験が必要なので、JAの直売所やホームセンターなどで苗を買い求めたほうが良いでしょう。
- 苗のときに芯を食われると結球できなくなるので、アオムシやヨトウムシなどは、防虫ネットのトンネル掛けで防ぎます。
- 株間を広く取り、外葉を大きく育てると大きな球になります。
- 結球ハクサイは、葉菜類の中でも特に病虫害の発生が多いので、地域や品種にあった播き時に播くことや輪作、排水対策、病虫害対策をしっかり行うことが大切です。

播種・育苗：3号ポット（直径9cm）に種まき用培養土を入れ、3~4粒ずつ互いに離して種を播きます（覆土は薄めにします）。発芽が揃ったら間引きして3本程度にします。本葉2~3枚で2本に間引き、本葉4~5枚で1本立ちにします。

畑の準備：植付けの2週間前に苦土石灰100g/m²と完熟たい肥1kg/m²をまき、深さ30cm位までよく耕します。植付けの1週間前には化成肥料（畑作名人 N-P-K:13-13-13）100g/m²を施し全体によく混ぜます。

連輪作：アブラナ科（キャベツ・ブロッコリーなど）の連作をすると根こぶ病が発生しやすくなるので、連作は避けましょう。3~4年以上の輪作をすると良いです。

栽植密度：畝幅60~70cm、株間40~50cm、畝高10~20cmの畝を立てます（水はけの悪い畑では高畝にします）。マルチを敷く場合は、シルバーマルチを使うとアブラムシ除けに効果があります。

植付け：葉数が5~6枚の苗を植付けます。根鉢を崩さないように植付け、株元にたっぷり水をやりませ。植付け後は、防虫ネットのトンネルをかけます。

追肥・土寄せ：第1回目は、定植後2週間ほどして本葉8~9枚の頃に追肥（畑作名人30g/m²）します。第2回目は、中耕と土寄せを兼ねて定植から30~40日後頃（本葉15~20枚頃）までに行います。苗が小さいときは株のまわりに、大きくなってからは畝の肩に肥料をばらまき、土を削りながら株元に土寄せします。

収穫：頭の部分を押さえてみて、球が硬く締まっているようなら収穫時期です。球を少し斜めに押し倒し、外葉との間に包丁を入れて切り取ります。収穫せずに畑に置いておく場合や、収穫が1月になる場合は、寒さが厳しくなる前（12月頃）に、球を外葉で包んで上部をヒモで縛っておくと、雪や霜の寒さからハクサイを守ることができます。外葉を縛る前には、内葉の中にアブラムシ等がないか、確認しましょう。（そのまま縛るとアブラムシの住み家になってしまいます!）